

令和 7 年度 第 2 回 松江市立皆美が丘女子高等学校運営協議会 会議録

- 1 日 時 令和 7 年 12 月 13 日 (土) 11 時 10 分～12 時 05 分
- 2 場 所 松江市立皆美が丘女子高等学校 応接室
- 3 出席者
 - (1) 委 員 大谷みどり委員 (会長)、樋ヶ通子委員 (副会長)、池田太持委員、高橋泰道委員、二木春香委員 (欠席：なし)
 - (2) 事務局 多々納雄二校長、山中清恵教頭、糸川健治事務長
- 4 議 題 及び 5 議事の要旨
 - (1) 学校現況報告 資料により報告した。
 - (2) 地域連携 資料により報告した。
 - (3) 学校評価 資料に基づき実施することとした。
 - (4) その他 ボランティアの取り組みについて資料を提供し説明した。
- 6 会議経過
 - (1) 学校現況報告 及び (2) 地域連携
委員から次のような意見があった。
 - ・ 先日実施された地域貢献活動において、朝酌公民館の清掃活動にも 11 名の生徒が参加した。熱心に取り組み、地域住民も生徒と一緒に活動することで元気になるのでありがたい。公民館事業として行うので、日程を早めに連絡いただきたい。
 - ・ 朝酌地区の文化祭は、幼稚園・小学校・中学校も合同で開催している。皆美が丘女子高等学校からもダンス部のステージ公演で参加いただいているが、学校の存在感を地域に広めていくため、更に積極的な参加をお願いしたい。
 - ・ 地域に高校があるということの価値がここ朝酌地区にはある。生徒の地域活動について積極的に取り組んでいただきたい。そのような活動が自己肯定感を高めることにも繋がる。「まつえ学」の一環としても捉えられるよいテーマになると思う。
 - ・ 生徒会が主催した「四者の語り」(生徒・保護者・地域・教職員による意見交換会)は、とてもよい取り組みと感じた。学校の問題・課題について現状把握と課題解決をそれぞれの立場で考えつつ議論できている。一方的に指導を受けるだけでなく、生徒会を中心として変わっていくことのできる学校となるとよい。
 - ・ 部活動の加入が少ないことについて、部活動離れや少子化の現状もあり仕方のないところもある。部活動に限らず、やりたいことができる仕組みがあるとよい。
 - ・ 進路指導について、親の立場でも一緒に知識や理解を深め、対応していきたい。引き続きよろしく願います。
 - ・ 「夢が叶う・実現できる」という目標に向けて取り組むことがとても重要。昨今の AI の発達に対し、自身の考える力や行動力が重要になってきている。「四者の語り

い」をはじめとした生徒会の活動は自ら考え行動的であり、評価したい。

- ・ まつえ学などで地域社会に学びを求める取り組みにおいて、女性経営者との接点があるとよいのではないか。島根県中小企業家同友会に女性部会もあり、たくさんの女性経営者も加盟している。企業側も学生との繋がりを作りたいと考えている。

これに対して事務局から次のような説明があった。

- ・ 地域貢献活動には地域の皆様から指導をいただきながら、熱心に取り組むことができ、よい経験・機会となった。日程については可能な限り早めに調整し相談させていただきたい。
- ・ 朝酌地区文化祭への参加について、ダンス部は恒例となってきたが、美術部の作品展など、様々な関わりを持っていきたい。是非ご案内いただき、関係の部活動などにも参加を呼びかけたい。
- ・ 部活動については、普段は社会体育の位置づけで活動しつつ、大会等には本校生徒として参加した活動実績もある。可能な限り生徒の活動を後押ししていきたい。
- ・ 女性経営者からの学びについては大変興味深い。どのような方が、どのような形で関わっていただけるか、引き続き相談させていただきたい。
- ・ 来年度からボランティア活動に対する単位認定制度を実施するにあたり、現在、市役所や公民館、ボランティアセンターなどに対し、ボランティア活動の情報提供について協力依頼を行っているところ。民間企業に対してもご協力いただけないか、取り組みの周知を広げていきたい。

(3) 学校評価

委員から次のような意見があった。

- ・ アンケート結果について次回の学校運営協議会で説明させていただきたい。
- ・ 本校を他の人に勧めたいかという設問は設けられないか。

これに対して事務局から次のような説明があった。

- ・ 今後、アンケートを実施し、次回学校運営協議会で結果について審議させていただきたい。
- ・ 今回のアンケート結果を基にして、今後の評価方法についても検討を進めたい。

(4) その他

委員から次のような意見があった。

- ・ 公民館等に依頼している本資料（ボランティア等情報提供）については学校のホームページに掲載しているか。企業にも広げていくにあたり、掲載があるとよい。
- ・ 小中学校の事業や活動についても高校生のボランティアとして参加可能か。

これに対して事務局から次のような説明があった。

- ・ ボランティア等情報提供について、ホームページにも掲載する。
- ・ 小中学校の事業等についてもボランティア参加は可能である。

7 事務局等

松江市立皆美が丘女子高等学校 電話 0852-39-0216